

総合防犯設備士にチャレンジ

アラコム株式会社 営業部 営業二課
総合防犯設備士資格番号 第 18-0385 号

保延 義和



監視カメラのシステム営業から部署が移動になるのを機会に、防犯設備士の資格と監視カメラの知識を活かせる職場として現在の職場に5年前に転職をしました。

現在の職場では機械警備、入退管理システムや防犯カメラ等の提案営業を行うことになり、監視カメラ以外の知識もメーカーの勉強会や日常の業務を通じ習得してきましたが、近年お客様からプロの目からみた総合的な防犯の見直しを求められることが多くなり、機器の知識だけでは、お客様の要望に応えることが難しくなりました。

セキュリティに対する考え方、防犯対策の構築、防犯設備の設計、総合防犯監査・防犯コンサルティングなど、今まで以上に専門的で多岐にわたる知識の必要性を感じ、体系的に勉強できる機会として総合防犯設備士にチャレンジすることを決めました。実際に総合防犯設備士のテキストを受け取り、勉強を始め過去問題を解いてみると覚えることが多いことに驚き、どのようにまとめればいいのか困惑しました。

今回、総合防犯設備士に合格できた大きな要因は、セミナーを2回受講したことです。講師の方から重要と言われた部分(セミナー資料ベース)をノートにまとめ、過去問題を参考に自分なりの想定問題を作成しました。この作業がポイントを絞り込むのに非常に役立ちました。

防犯設備の設計では、セミナーで事例として扱われた問題の回答パターンを繰り返し手書きして覚えこみました。

総合防犯監査では、セミナーで扱われた事例に近い過去問題3年分の回答パターンを理解し、手書きで回答する練習を行いました。

試験では手書きによる回答のため、想定問題なども30回以上繰り返して手書きによる回答を作成する練習を行いました。

今後は、総合防犯設備士として高い使命感を持ち、専門知識をより深めるとともに、ヒューマンスキルを高め、仕事では顧客企業に対し、今まで以上に高品質なセキュリティを提供できればと思っています。また、総合防犯設備士に求められる地域活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。